

岡本利吉 （たけのきち） 農民自治運動家。明治十八年十一月二十一日高知縣生れ、昭和二十七年十月十四日歿（二八五—一九六二）。郵便電信學校卒。靜岡縣愛鷹山中腹の山林を開墾して自給自足の生活をし、農村青年共働學校や出版社純眞社を經營して農民自治・消費組合運動を指導した。また國際補助語としてポニーボム語を考案したことも知られる。神都教壇館館長。號普意識。

著書 『農業改造論』（大正九年四月二十日企業と憲協會出版部「企業と憲論集」）、『農村と消費組合』（大正十五年四月十日啓明會本部「啓明パンフレット」）、『規範經濟學』（昭和四年十月十五日平凡社）、『マルクス資本論嚴正批判』（昭和六年九月二十五日純眞社）、『經濟學確認・實生活篇』（昭和七年五月二十日純眞社）、『美教人間學—人生問題總解決』（三版・昭和八年三月一日、四版・十一年四月二十日純眞社）、『美教と人間論』（昭和九年九月十五日建設社「建設文庫」）、『世界語學論』（岡本普意識名、昭和二十九年四月二十日民生館）、『知識學論』（同、昭和二十九年十一月二十日民生館「民生學論体系」）等。

